

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	日本植物学会第81回大会（2017年9月8日-10日、千葉県野田市東京理科大学野田キャンパス）
演題名	ジャスモン酸類による <i>Euglena gracilis</i> のカロテノイド合成・蓄積の調節
発表者	加藤 翔太[1]★, 中村 将志[1]※、齋藤 梓[1]※、齊藤 圭祐[1]※、湯本 絵美[1]、横田 孝雄[1]、高市 真一[2]、山根 久和[1]、篠村 知子[1] （[1]帝京大・理工、[2]東京農大・生命科学、★印は帝京大の博士研究員）
内容	<p>微細藻類<i>Euglena gracilis</i>（以降、ユーグレナとする）は植物ホルモンの一種であるジャスモン酸やジャスモン酸イソロイシンを合成するが、その生理機能は明らかになっていません。本研究では、培地へのジャスモン酸類の添加が、光ストレス下でのユーグレナのカロテノイド合成に及ぼす影響を解析しました。その結果、培地へのジャスモン酸メチル添加によって細胞のカロテノイド蓄積量が増加し、その結果ユーグレナが光ストレスを受けにくくなった可能性が示唆されたことを報告しました。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C 17K07945)の支援を受け、H29年度の本研究室の卒研生や学内外の研究者と共同で行いました。</p>
関連画像	 